

令和3年度 日本歯科医師会国際学術交流基金助成者による報告

新潟大学大学院医歯学総合研究科 口腔生命科学専攻 包括歯科補綴学分野
Pinta Marito

私はインドネシア大学の4年制歯科補綴学レジデントプログラムを修了し、現在はインドネシア大学歯学部歯科補綴学教室の講師をしております。

最初に、日本歯科医師会の先生方に、心より感謝申し上げます。「国際学術交流基金」による奨学金をいただけたおかげで、私は新潟で学ぶ機会を得ることができました。日本での滞在、そして学修期間を通してずっと、本奨学金は本当に大きな助けとなりました。

そして、Lindawati S. Kusdhany 教授（インドネシア大学歯学部歯科補綴学教室）と小野高裕教授（新潟大学大学院医歯学総合研究科・包括歯科補綴学分野）にも感謝したいと存じます。先生方が共同研究を開始してくださったおかげで、私は新潟大学での博士号取得を目指すことができました。

本来、私は2020年4月に来日予定でしたが、COVID-19パンデミックのため来日を延期せざるを得なくなりました。最終的に、日本への渡航制限が一時的に緩和された2020年秋に渡航手続きを開始し、2021年1月初旬に来日、そして新潟大学大学院・包括歯科補綴学分野にて博士課程大学院生としての学修を始めました。

この期間に、私は咀嚼と嚥下についてたくさんのお話を学びました。研究に携わる者のための授業科目、セミナーに参加し、いろいろな評価法や研究法について議論しました。またビデオ内視鏡、ビデオ嚥下透視検査（VF）、筋電図評価（EMG）の被験者にもなりました。さらに、新潟大学医歯学総合病院と兵庫医科大学病院にて、顎顔面領域に問題のある補綴患者の治療を見学させていただきました。この経験は私の臨床スキルと専門知識を高めてくれました。インドネシアに帰国したら、ぜひこの知識を自分の診療に発揮し

たいと思います。また、いくつかのオンライン学会にも参加する機会を得ました。第6回 International Conference on Food Oral Processing（スペイン・バレンシア）、第2回 World Dysphagia Summit Congress 2021（名古屋市）、European College of Gerodontology (ECG) 2021 conference（スイス・ベルン）の他、デジタルデンティストリーやWHO・新潟大学主催によるオーラルヘルスプロモーションにおけるセミナー・ワークショップなどです。これらすべてにより、私の歯科医療についての知識は一層高まりました。

新潟大学歯学部の学部生に対する教育にも、英語・部分床義歯学・全部床義歯学においてティーチングアシスタントとして参加しました。こちらはいろいろな指導方法を啓発していただく機会となり、インドネシア大学の講師としての教育スキルも向上させてくれました。長谷川陽子先生のご指導で、データ収集・解析を学び、論文を書くこともできました。また兵庫県丹波篠山市、長野県松本市で行われたコホート研究についても紹介をいただき、一部に参画しました。コホート研究以外にも、小野教授、堀一浩准教授が分野で指導されている数多の研究のお手伝いをさせていただきました。

外国で学ぶこと、特に日本に留学することは、経験値を高める素晴らしい機会となり、また私の考え方・生き方をより良くしてくれたと言えます。来年は博士課程の2年生として、新潟で学んだことをインドネシアで実行してまいります。そして次に新潟に戻る際には、自らの知見を発表し、そして修了したいです。

最後に、日本歯科医師会にこのような機会をいただけたおかげで、私の学びに必要なすべてを探究でき、



新潟大学大学院医歯学総合研究科 包括歯科補綴学分野のメンバー



小野高裕教授と筆者

本当に感謝しております。私はすべての人にこのプログラムへの応募を勧めたいと強く思います。このプログラムが、良き人生行路となり、挑戦という数々の瞬間を通して、人を目標に向かってより前進させてく

れ、たくましくしてくれ、そして自分の夢を追う中で常にベストを尽くせるよう、モチベートし続けてくれることでしょう。

〈指導教員からのコメント〉

新潟大学大学院医歯学総合研究科
包括歯科補綴学分野教授
小野高裕

留学期間中はコロナ禍で不自由な1年間でしたが、多くのことを学び、研究チームの一員として活躍してくれました。帰国後、共同研究を進めて、3年後にどんなすばらしい論文で博士号を取得してくれるか楽しみです！

* * *